

## 令和4年度 第2回せたがや生涯現役ネットワーク世話人会議事要旨

日 時：令和4年6月3日（金） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：ひだまり友遊会館3階第6会議室

出席者：世話人 兜山、河上、秋山、横地、今村、中島、盛田

市民活動役推進課 加藤

### 1 令和5年度以降の補助事業について

#### 【事務局からの説明】

- ・シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクトが3年を迎え、区の補助金の見直しサイクルの考え方からも、令和5年度に向けて補助事業の見直しのタイミングとなる。
- ・現在のプロジェクトの後継となる事業を展開していくのか、まったく別ものの事業を始めるのか、まず世話人会の場で検討をいただきたい。

#### 【世話人会からの意見等】

- ・出来上がったしくみを実行する計画を立てたらよい。
- ・社会福祉協議会、ボランティア協会と連携することで、それぞれの組織が何をやっているのか、新しい知識を得ることができた。また、社協、ボラ協にネットワークが何をやっているのか、知らせることもできた。
- ・まち歩き→地域活動団体紹介の流れが不自然だと感じる。
- ・まち歩きのワイワイガヤガヤの雰囲気ではその場限りで解散となってしまう、繋がりが生まれにくい。
- ・プロジェクトの成功とは何か？看板を変えて繰り返し継続のように見えないように、今までの歴史と得られた結果・反省・ノウハウから発展期なのか、終了させて別にするか考える時。補助金の意味合いを知りたい。→事務局「成果として、補助金なしでも自立して継続する活動やしゅみ（＝完成品）が生まれるのが理想」 河上「参加費で経費全額賄う場合や協賛金が集まる程魅力的で有意義なもの確立するのが完成品、なのではと思う。」
- ・現在のプロジェクトはリーダー一人がすべての業務を担っていて、引き継ぐ相手がいない。次の3か年の計画に向けて、ワーキングチームを作るのはいかがか。
- ・現プロジェクトの中のネットワークメンバー（鬼塚さん、臼井さん、小林さん、佐伯さん、秋森さん、多賀さん、清志水さん）と世話人会メンバーで、次年度以降の3か年計画を立てる。
- ・6月10日に、臨時のしくみづくり実行委員会があるので、実行委員会終了後、メンバーに残ってもらい、第1回目の検討をスタートする。

### 2 ネットワーク団体が実施する地域活動講座の生涯大学への設置検討について

#### 【事務局からの説明】

生涯大学入学案内をもとに説明。生涯大学は教育機関に準ずるものなので、2年間のカリキュラムを用意する必要がある。世話人会で、ネットワークとして要望を上げていくのか、検討していただきたい。

#### 【世話人会からの意見】

- ・2年間のカリキュラムをネットワークとして作っていくことは負担が大きいため、世話人会として要望を上げることは反対。
- ・生涯大学では、修了生に向けて地域活動団体紹介をするなど一部、ネットワークが関連するイベントの実施があるものの、それがネットワークの活性化につながっているとは言い切れない。

- ・上記の地域活動団体紹介に加えて、生涯大学の学園祭にネットワーク団体が参加することや、生涯現役フェアに生涯大学学生が参加するなど、既存のイベントを使って関わる機会を増やしていくのがよいのではないか。

### 3 生涯現役フェア実行委員の募集について

- ・生涯現役フェアの通知を7月上旬にネットワーク全団体あてに発送することを確認。
- ・通知文の記載について、「各団体から原則1名選出いただきたい」旨を記載することとなった。(後日、事務局が修正案を世話人の皆様にメールする)

### 4 新規プロジェクトの応募について

- ・事務局より、プロジェクトの申請状況について報告。劇団・せたがや創作紙芝居、地域デビューの会が申請を検討中。
- ・パソコンクラブ優遊会から、新規申請があったため、代表の中島氏より、企画書に沿って説明があり、承認された。

### 5 新規加盟団体の予告と先行審査

- ・兜山さんから世田谷生涯大学同窓会がネットワークに加盟する方向で調整中との報告があった。正式には6月14日に内部会議で決定とのこと。今年のガイドブックに掲載可能なので、内部会議の結果によってガイドブックの印刷原稿を差し替えたい。本日ここで仮に加盟の申し込みがあった場合に世話人会として承認することに意義が無いかを先行審査したいが、どうか？との動議に、世話人会全員が同同窓会の加盟に異議なしであった。

次回世話人会は、8月以降とする。7月はイベント（フェア）実行委員会があり、世話人会全員あつまる機会となるので必要な連絡協議事項はその時に行えるため。

以上